

スポーツクリ

LOTO

BIG

2021

No. 101
Autumn

Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

中井眞一郎 新会長就任のご挨拶

スポーツマスターズ岡山大会記念事業
ダンススポーツ競技大会

2021ダンススポーツグランプリ
in 北海道・PDグランプリカップ



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

会長就任のご挨拶

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟会長
中井 眞一郎



新型コロナウイルス感染症の収束見通しが見えない状況が続く、JDSFの活動も大きく制約されている中、私は齊藤斗志二前会長の勇退により空席となった代表理事・会長に就任させて頂きました。

振り返りますと、私は齊藤前会長からの依頼でJDSFが社団法人となる直前に理事となり、風営法改正、スポーツ団体がバナンスコードに沿った委員会設置や規則の制定、苦情処理などの問題に対して弁護士である理事として、業務執行理事の皆様と一緒に仕事をして参りました。そして、JDSF関係者としてJSAA（公益財団法人日本スポーツ仲裁機構）の調停人・仲裁人候補者となり、代表選手の選考などをめぐるアスリートとNF（中央競技団体）との紛争について事例の研究を重ねて現在に至っております。

JDSFの理事在籍期間も約20年になりましたので齊藤前会長の勇退にあわせて、私も理事・副会長を退任させて頂きたいと考えていました。しかし、外部理事は定年制の対象外とのことに加えて外部理事ほぼ全員一斉退任では困るとのことで、市原則之理事とともにもう少しの間、理事を続けさせて頂きたくところ、山田淳専務理事、金子和裕常務理事、更には市原理事（現副会長）からも説得され、しかるべき方が就任されるまでの間、代表理事・会長をお引き受けすることにしました。お引き受けした以上は、JDSFが現在の苦境を乗り越えて大きく飛躍するために全力を尽くす所存ですが、微力のため会員各位と理事・監事そして事務局の皆様のご理解とご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。

齊藤前会長退任のご挨拶（DDD100号P1掲載）にあるとおり、JDSFは齊藤会長の下で社団法人の認可、公益社団法人の認可を得、JOCだけでなくPD部門の発足により念願の公益財団法人日本ス

ポーツ協会への正加盟を果たしました。ブレイキン（ブレイクダンス）が2024年のパリでのオリンピックの正式種目となり、全国の体協への加盟も大きく進展し、国体参加が目前になってきました（まだ未加盟の県については今後県体協加盟を促進していきます）。

JDSFでは外部理事比率は25%の目標値をほぼ満たしていました。しかし、女性理事は、小野清子名誉会長のご逝去、橋本聖子理事のご退任により秋田幸子理事一人となっていました。このたび岡崎朋美、福島梨絵、太田吏圭子、渡辺裕美の4名の方に理事に就任頂きましたものの、理事総数21名のうち女性理事は5名で40%にはほど遠い状況ですので、今後とも女性理事増員に努めてまいります。

ところで、以前から問題になっている会員減少には歯止めがかかりません。昨年は金子常務理事を中心に「コロナ渦でのコスト節減と事業のあり方」を模索し、感染防止対策を徹底して第40回三笠宮杯ダンススポーツ選手権を成功裏に開催することができました。

今後も創意工夫をして技術認定会、公認指導員研修会、新たな競技会（オンラインコンペ）などを試みますが、幸いにも今年の第41回三笠宮杯は感染症対策のために様々な制限下ではありましたが、多くの方に会場でご覧頂く方式で開催できました。WDSF世界ブレイキン選手権、アジアで初めてのワールドマスターズゲームズ第10回大会へとつなげたいと存じます。

会員の維持と増強は、少子・高齢化の進む日本にあつてはJDSFだけでなく、多くの団体の焦眉の急です。私は、会員を増やし、スタンダードやラテンなどもオリンピック正式種目となることや、国体正式参加を目指して頑張りたいと存じます。会員、理事・監事、事務局各位のご支援ご尽力を重ねてお願い申し上げます。会長就任挨拶と致します。

“ダンススポーツ” 東京オリンピックの話題

東京2020オリンピック競技大会は7月23日から始まり8月8日に閉会式を迎え、獲得したメダル数は金27、銀14、銅17の計58個は過去最高。東京2020パラリンピック競技大会は8月24日から9月5日まで開催されました。

8月8日閉会式、日本国旗を掲げて入場行進した河合来夢さん(20歳)(DDD100号巻頭にて速報を掲載)

「ベアラーを務めるのは、ダンススポーツ・ブレイキン・ユースオリンピック金メダリスト、河合来夢さん！」

NHKテレビのアナウンサーの声が高らかに響き渡りました。ダンススポーツ・ブレイキンは、2024年パリオリンピックの正式競技種目です。

閉会式の日本国旗ベアラー(運び手)は、柔道60キロ級金メダル高藤直寿、競泳女子金メダル2冠大橋悠依、体操男子団体銀メダル北園丈琉、日体大教授横田裕行医師、義足のファッションモデル海音さん、そして2018年ブエノスアイレスのユースオリンピック金メダル2冠の河合来夢さんの6名です。

閉会式の国旗ベアラーに選ばれたことは秘中の秘とされ、JDSFやブレイキン関係者にも明かされていませんでした。河合来夢さんは、閉会式に臨む心境、そして閉会式に臨んだときの心境を次のように語っています。

「閉会式の数少ないリハーサルでは、実際に旗を持って手の角度や旗の引っ張り方、歩く速度など短い時間の中で色々指導を受けました。当初の想像以上に大事な役目であり、歩きながらこうしなければならない、あししなければならないと、本番でも意識を持ち続けるのはとても大変だと感じました。また閉会式にベアラーとして参加することは秘密だったので、自分が見てほしいと思う人に自分の口から伝えられなかったのがすごくもどかしかったです」



NHKで放送された東京オリンピック閉会式



2018年10月第3回ユースオリンピック開催地のブエノスアイレスまで駆け付けた応援団と日本代表選手の河合来夢、半井重幸(左端が渡邊マーロックJOC強化委員、右から3人目筆者)

そして、現在の心境も話してくれました。

「今回のベアラーという貴重な経験をさせて頂いて、言葉にならないくらいとても嬉しかったし、大会に出場する時とは全く違う緊

張感があったのを覚えています。また今回の東京オリンピックでメダルをとった選手の方々と一緒に旗を持てたことに、自信を持つべきだと感じたし、ベアラーとして参加していたメダリストの堂々としている姿を間近で見た時に“自分もパリ五輪に行こうになりたい”という思いも凄く強くなりました！」

JDSFのマーケティング本部長、JOC強化委員ナショナルコーチの渡邊マーロック(渡邊将広)氏は、「東京2020オリンピック閉会式で河合来夢がベアラーを務める姿や、パラ閉会式でもブレイキンのパフォーマンスを沢山見ることが出来て大変嬉しい。これまでも、他国で開催された開会式や閉会式にてブレイキンが披露されることはありましたが、今回はそれを日本で見る事ができ、さらにパリオリンピックでは正式種目として戦うことが出来るので、ワクワクするとともに、身が一層引き締まりました。パリ五輪にて日本人選手が活躍できるように、ブレイクダンス本部として、全力で競技力の向上に取り組んでいきます！」と意気込みを語ってくれました。

パラ競泳でメダル3個獲得した富田宇宙選手(32歳)は、日大競技ダンス部でも活躍！

銀2、銅メダル1に輝いた富田宇宙選手は、JDSFに加盟する全日本学連の日本大学競技ダンス部に所属、主将を務め、2011年第89回東部日本学生選手権I部戦ラテン競技チャチャチャ第11位、2012年第32回三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権ラテン競技に出場し、1次予選を突破、2次予選に進出するなど、ダンススポーツ競技でも活躍。さらに、全日本ブラインドダンス選手権のチャンピオンとしても活躍中です。

(JDSF広報部相談役
神宮周二)



2018年ユースオリンピック金メダルに輝いた河合来夢さん



2018年の全日本ブラインドダンス選手権で優勝した富田宇宙選手
日本体育大学/EY Japan所属
(写真：月刊ダンスビュー)

スポーツKLi スポーツマスターズ岡山大会記念事業 ダンススポーツ競技大会

2021年8月8日(日) / 岡山県体育館 後援:(公財)日本スポーツ協会(JSPO)

コロナ対策に則り、
正々堂々戦います!

選手宣誓

河田宣成・田中三津子組
(岡山県)

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF)が日本スポーツ協会(旧日体協)に正式加盟した2019年、本大会は岐阜大会から始まりました。昨年はコロナ禍で中止、今年は開催地の岡山県DS連盟など関係者の尽力により感染防止対策を徹底、29都道府県の選手が出場し、無事開催されました。

日本スポーツマスターズは、かつてオリンピックや全日本の選手として活躍したトップアスリートと、各地域で日々練習を重ねてきた選手が同じ舞台上「生涯現役アスリート」として日本一をかけて戦うオリンピック同様、アマ・プロの区別ない大会です。来年は8月28日、岩手県花巻市で開催されます。



①スポーツの素晴らしさを語り、ダンススポーツ10種目のオリンピック参加を目指すと挨拶する山田淳JDSF専務理事 ②秋政邦江岡山県DS連盟会長 ③佃博志同副会長 ④競技中のマスク着用を説明する蒲生志津雄チェアパーソン(JDSF競技部長)

マスターズI スタンダード

優勝



高橋 一昌・高橋 由紀子 組 (PD)

前回の岐阜大会はマスターズIとIIに出場(いずれも優勝)しましたが、今回はコロナ禍で少しが埼玉から頑張って出場しました。優勝できて嬉しいです。(後述のマイドリーム参照)

競技名

出場資格

競技名	出場資格	PD登録選手出場可
マスターズ I	年齢35歳以上と30歳以上	○
マスターズ II	年齢45歳以上と40歳以上	○
〈全日本選手権〉マスターズ III	年齢55歳以上と50歳以上	○
〈全日本選手権〉マスターズ IV	年齢65歳以上と60歳以上	○
〈全日本選手権〉マスターズ V	年齢75歳以上と70歳以上	○

準優勝



高杉 耕一・高杉 綾子 組 (東京都)

第3位



正木 暁文・正木 顕子 組 (広島県)

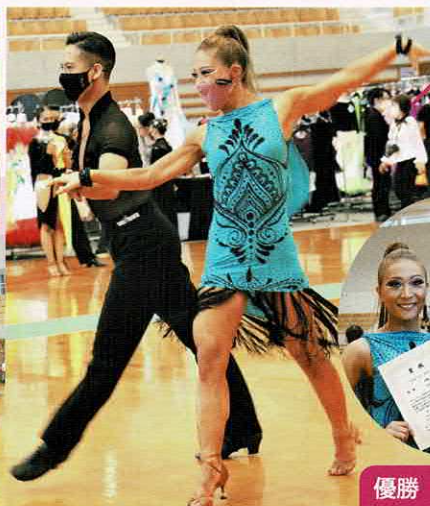
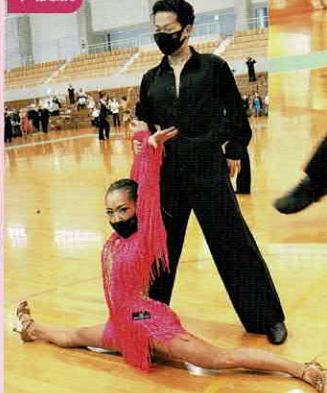
マスターズI ラテン



第3位



準優勝



優勝

いつもはプロ(PD)とのコンペですが、今日はアマと同じフロアでの戦いはとても新鮮で大変緊張しました。優勝できて嬉しいです

元パートナーの北牧雅文さんは、社交ダンス普及とDSNの運営に尽力するため現役を引退し、現在は「ダンススポーツ情報局」を月刊ダンスビューに毎月連載、「History of DanceSport」のメインライターとして毎週動画を作成し配信中ですが、登場するモデルは勿論、このカップル。

- 優勝 高島 大知・北牧奈緒子組 (PD)
- 準優勝 佐藤 寿一・佐藤美奈子組 (東京都)
- 第3位 岩本 裕也・古賀由香利組 (福岡県)
- 第4位 東田 翼・太田亜矢子組 (兵庫県)
- 第5位 上田 泰三・上田 里奈組 (広島県)

マスターズII スタンダード



長谷川 和美・長谷川 祥組 (PD)

優勝



全日本選手権 マスターズIII ラテン

優勝



武田 澄人・武田 歩組 (埼玉県)

マスターズII ラテン



優勝



岸田 肇・岸田 祐子組 (PD)

優勝



全日本選手権 マスターズIII スタンダード



天野 誠・天野 理恵組 (PD)

全日本選手権 マスターズIV スタンダード



優勝

石川 誠一・石川 美智子組 (新潟県)

全日本選手権 マスターズIV ラテン



優勝



杉山 典克・杉山 美子組 (静岡県)

全日本選手権 マスターズV ラテン



優勝

丸山 建夫・梶本 みち子組 (東京都)



全日本選手権 マスターズV スタンダード



優勝



林 伸男・林 民子組 (岐阜県)

★キラ星み~つけた!★



藤井龍之介・正木 葵組(広島県)

多数のシニア選手に混じり併催のD級戦に出場、ラテン準優勝スタンダード第5位に輝きました。カップルを組んで2年。競技会の出場は2回目の中学2年と小学3年生、身長差を注意して踊る可愛いカップルです。



開会式

都道府県別団体戦結果

優勝	東京都
準優勝	大阪府
第3位	埼玉県と神奈川県



My Dream

『生涯スポーツとして ダンススポーツの魅力を伝えたい』

マスターズI スタンダード優勝 (2019年第1回に続き2連覇)
高橋一昌・高橋由紀子組 (PD関東甲信越ブロック)

JDSF会員の皆様こんにちは! PD関東甲信越ブロック所属の高橋 一昌・高橋 由紀子組です。第1回日本マスターズの岐阜大会のマスターズIとIIの初代優勝に続き、『日本スポーツマスターズ岡山大会マスターズ1』優勝の名誉をいただきました。ご存知の通りコロナ禍の中での大会でしたが各地より選手が集いエントリー数の減少はありながらも無事開催に漕ぎ着けて下さったJDSFはじめ岡山県連の皆様には心より感謝申し上げます。

私達はJDSFにPD(プレミアディビジョン)という新たな部門が設立された2016年にJDSF会員となりました。それ以前は長きに渡りJBDF東部連盟プロ選手として活動しておりましたが、私達の尊敬するミルコ&エディータ・ゴッゾーリ組のWDSFへの移籍などの影響もありダンス人生において大変良いタイミングでJDSFに移籍することができたと思っております。2016年に初開催となった『第一回三笠宮杯全日本PDダンススポーツ選手権大会』においてはダンス人生初の東京体育館、満員のお客様に囲まれたファイナルフロアで踊ることが出来ました。PDだけの演出であった、ドライアイスアーチをくぐった時の、胸が震えるほどの喜びは生涯忘れることのない宝物となりました。

私達はダンススポーツ10ダンスをオリンピック正式種目にするというJDSFの目標に強く感銘を受け共感し、PD設立当初より選手としてだけではなく些少ではありますが組

織の仕事にも携わってきました。

年齢別の国体と呼ばれる『日本スポーツマスターズ』に率先して出場しているのもオリンピックムーブメントのひとつとして『まずは国体参加から!』という強い思い入れがあつてのことです。私達はカップル暦も長く年齢的にもシニアIIにどっぷり浸かるほどの年齢ですが、そんな私達だからこそ出来ることとして『ダンススポーツを、全国民老若男女にすべからく、生涯スポーツとして楽しめるスポーツとすること』を目標にシニアの星☆と呼ばれるよう長く現役を続けていきたいと思っています。

私達は埼玉県幸手市でスタジオ経営しておりますが、そのスタジオ内に『K&Yアマチュア選手会』というダンススポーツ競技選手で組織している選手会があります。長年競技選手の指導をしてきましたが近年ではダンススポーツ教本やダンススポーツの評価基準に沿った指導に力を入れています。このコロナ禍でもダンススポーツの火が消えないよう競技会運営にも尽力しながら自らも競技選手としてGD(ゼネラルディビジョン)の皆様と共にJDSFを盛り上げていきたいと思っています。競技会で私達を見かけたらどうぞお気軽にお声がけ下さい!またコロナが終息したら選手としてフロアにいる私達の背番号を大きな声で呼んで下さいね!皆様からのお声がけ、心より楽しみにしております。

「ワールドマスターズゲームズ」2026年に再延期へ

関西や徳島、和歌山などを会場に開催される予定の生涯スポーツの国際大会、「ワールドマスターズゲームズ 2021関西」は、開催を2026年まで延期する方向で調整が進められることになりました。

大会の組織委員会は、新型コロナの感染がどうなるか見通しがつかないことなどを考慮したとしています。

ワールドマスターズゲームズは、4年に1回開かれる生涯スポーツの国際大会。日本で開催される10回目の大会は、関西2府4県に徳島、福井、鳥取を加えた9つの府と県を会場に、当初、2021年5月に開幕することになっていましたが、新型コロナの影響で開催が1年延期となっていました。

大会の組織委員会は、新型コロナの感染がどうなるか見通しがつかず、来年の開催は難しいと判断したうえで、世界の各地域で開かれるマスターズゲームズの大会日程なども考慮して、日本での開催は2025年に台湾で開かれる次の大会の翌年、2026年まで再延期する方針を決めました。

組織委員会は、「参加者（特に海外参加者）が安心して競技に参加し、自由に交流・ツーリズムを楽しむことができる環境が整うまで開催を再延期することが妥当であると判断し、再延期は残念だが、高齢化社会の中で生涯スポーツが根づくために取り組んでいきたい」と話していました。

ワールドマスターズゲームズ2021関西への参戦に向けて

長野県ダンススポーツ連盟 岡田 明義

新型コロナウイルスによってもたらされた災いは、変異しながらもいまだに猛威を振るい、一向に収束する気配が見えて来ない状況が続いています。ダンスの競技会開催やサークル活動にも大きな影響を与えています。そんな中、今年の8月にJDSF主催、岡山県ダンススポーツ連盟主管にて「日本スポーツマスターズ2021岡山大会記念事業」として、ダンススポーツマスターズI～Vが開催されました。私も参加させて頂きました。気持のこもった素晴らしい運営に大変感動しました。

来年は、4年に一度、オリンピックの翌年に開催されるWORLD MASTARS GAMESが日本にやってきます。アジアで初めてのことです。国内3万人、国外2万人の規模で行われます。今年の予定でしたが1年延期となりました。ダンススポーツは正式種目となっており、海外から大勢のシニアアスリートが来日することと思われます。既にアメリカやカナダの選手仲間から私にも質問などの連絡が来ています。開催地域は広く関西全域で実施され、ダンススポーツは和歌山市の「武道・体育センター和歌山ビッグウェーブ」で5月28日(土)・29日(日)に開催されます。

2018年に長野市で開催しましたWDSF世界選手権シニアIVSt.の折には、80組ほどの日本人選手のエントリーを頂きました。皆さん方にはWDSFへの登録を済ませてご出場頂きました。誠に有難う御座いました。日本人シニアアスリートの存在感を世界に示すことが

出来たと思っています。今回のワールドマスターズゲームズは、自国での開催というまたと無いチャンスです。どうぞ皆様、貪欲に挑んで欲しいと思います。30歳以上のオリンピックとも言われるビッグイベントです。過去には101歳の女性が陸上100m走に挑んで最高齢記録を残しています。ダンススポーツにも誰もが参加できるステージが用意されています。メダルを狙える面白さと、市民アスリートとして参加する楽しさを思いきり味わおうではありませんか。

最後に、国際大会であるワールドマスターズゲームズのダンススポーツ参加に対する、私の意気込みを書かせて頂きたいと思います。日本で開催されるという、こんなチャンスは生きている間にはもう来ないだろうとの思いで、生活環境を整え体力の限界に挑戦してみたいと思っています。目標とする順位は決勝進出、できればメダルに手が届けばと思っています。一番楽しみなのは、環境が許せば国内の同年代の仲間としっかり飲むことです。海外の友達とも友好を深められればと期待しています。また、シニア選手会の皆さんをはじめ、大勢のシニアダンス愛好者が出場されて楽しむ様子を見られたらこんなに嬉しいことはありません。それでは来年5月に和歌山でお会いしましょう。



(2021年9月末日執筆)

SHIZUOKAダンスコレクションin2021



挨拶する静岡県DS
連盟 金子和裕会長

2021年10月10日(日)／グランシップ「海」 主催：静岡県ダンススポーツ連盟

2024年パリ五輪の正式種目となったブレイクダンス。2021年より(公社)日本ダンススポーツ連盟に新たに加わったブレイクダンスの皆さんも大勢参加し、文字通りジャンルを超えたダンス交流の場となりました。また、スペシャルデモには、今最も注目されている藤井創太・中村安里組が登場、会場を大いに沸かせました。感染予防を徹底しながら、ダンスタイムも設け、見て踊ってダンス三昧の一日となりました。



閉会の辞を述べる
伊藤正治実行委員長



藤井組と役員の皆さん



大勢で楽しんだダンスタイム

フォーメーション



フレッシュDC



チャリーズエンジェル

ワークショップ



●坂本恭子先生のリズムダンス



●唐澤剛史先生のブレイキン



ダンシンググレース



●藤井創太 & 中村安里組のラテン種目

元気いっぱいのブレイキンのフォーメーション



スペシャルデモンストレーション



藤井創太 & 中村安里組

デモンストレーション



関口直弘さんと平野みずえ先生



牧野正道さんと夏目寿乃先生



塚田節子さんと手塚慎一先生



高野久美子さんと夏目和夫先生



三岡直樹さんと阿南美千子先生



森竹典子さんと中込悟先生



野木悦子さんと手塚慎一先生



五老和代さんと伏見隆夫先生



鈴木裕子さんと夏目和夫先生



落合千恵子さんと石井猛先生

2021ダンススポーツグランプリ in 北海道・PDグランプリカップ

2021年9月26日(日) / 北海道立総合体育センター〈北海きたえーる〉



開会宣言の高橋毅北海道DS連盟会長

昨年1月から感染拡大の兆しが見え始めた新型コロナウイルス。2021年に入り、新たな変異株、インド型ウイルスも発生し、全国の感染者数は7月29日には1万人、8月13日には2万人を超えました。北海道においても8月27日から緊急事態宣言となりました。各地で競技会の中止が相次ぐ中、金子和裕北海道ブロック委員長（JDSF常務理事・事務局長）と高橋毅北海道DS連盟会長を中心に、会員スタッフの皆様のご協力の下、消毒や換気その他、道外から参加の選手、役員の皆様へは無料

で出来るPCR検査の周知など、万全なコロナ対策を徹底することにより、北海道並びに札幌市のご理解を得た上で予定通り開催にこぎ着けることが出来ました。観客の皆様への応援は拍手とご最良の選手の名前が入ったうちわを振り、会場は大いに盛り上がりました。

また、久保田組、大木組、太田組など、北海道出身の選手たちが、今年も会場の後かたづけの手助けで力を発揮していました。



優勝

小嶋 みなと・盛田 めぐみ 組 (神奈川県)

18歳と17歳の若さで出場した2010年中国広州のアジア大会銅メダリストも、今は29歳と28歳、日本を代表するカップルに大きく成長しました。

ダンススポーツグランプリ スタンダード

2022年度WDSF世界選手権代表選考競技



当時と変わらぬ情熱を持ち続け、海外の競技会でも勝てる選手になるのが目標。今はコロナ禍にあり、ヒルズ学園で幼い頃からの師匠、坂本幸児コーチの下に自分たちの踊りを一から見直しています。ミルコ・ゴッゾーリ元世界チャンピオンにも師事し、これからも世界を目指していきたい！



準優勝

五月女 光政・五月女 敬佳 組 (栃木県)



第3位

藤森 春樹・金山 咲月 組 (東京都)



第4位

熊谷 光晃・粕尾 明日香 組 (東京都)



第5位

佐藤 祐馬・久保田 理沙 組 (東京都)



第6位

飯沼 孟大・馬場 えりな 組 (神奈川県)

プレジュニア スタンダード



- 優勝 高階 凌・榮岩由莉那 組 (北海道DSC)
- 準優勝 小原 遼史・小原菜々華 組 (北海道DSC)
- 第3位 近江谷莉奈・野邊真李甫 組 (北海道DSC)
- 第4位 西島 奈那・庄司 琴音 組 (北海道DSC)
- 第5位 中川 碧成・横沢 優羽 組 (北海道DSC)



優勝
L・St

プレジュニア ラテン



- 優勝 高階 凌・榮岩由莉那 組 (北海道DSC)
(同St優勝・JDSF A級戦3位)
- 準優勝 野邊真李甫・近江谷莉奈 組 (北海道DSC)
- 第3位 小原 遼史・小原菜々華 組 (北海道DSC)
- 第4位 庄司 琴音・横沢 優羽 組 (北海道DSC)
- 第5位 中川 碧成・西島 奈那 組 (北海道DSC)

優勝



久保田 弓椰・徳野 夏海 組 (PD北海道ブロック)

PDグランプリカップ ラテン

2022年度WDSF - PD世界選手権代表取得対象競技



小学1年から妹の蘭羅とコンペに出場してきました。当時の純粋な気持ちを今も持ち続けていきたい。今はパートナーの両親や祖父母にも感謝しています。このタイトルの重みを感じ、会場の皆様にダンススポーツの持つパワーをお伝えすることができていれば、それは大変嬉しいことです！

準優勝



西村 康宏・鳥尾 綾香 組 (PD関東甲信越ブロック)

第3位



Kevin・河岡 宏美 組 (PD関東甲信越ブロック)

第4位



高島 大知・田村 奈緒子 組 (PD西部ブロック)

第5位



新屋 秀和・滝川 絵理 組 (PD西部ブロック)

第6位



西 恭平・西川 真由 組 (PD関東甲信越ブロック)

準優勝



第3位



優勝



シニアI 選手権 ラテン

2022年度WDSF世界選手権代表選考競技



- 優勝 石田 茂之・矢野美帆子 組 (茨城県)
- 準優勝 村瀬 賢一・小笹 詩織 組 (埼玉県)
- 第3位 村田 知紀・北見 奈雅 組 (神奈川県)
- 第4位 山本 哲郎・工藤由美子 組 (東京都)
- 第5位 河野弦二郎・河野 サヨ 組 (京都府)
- 第6位 蛭川 博信・浅田 舞 組 (東京都)

JDSF A級戦 ラテン

北海道知事杯



- 優勝 太田 歩生・松本 京佳 組 (札幌圏)
- 準優勝 大木 大樹・大木 風香 組 (北海道DSC)
- 第3位 高階 凌・榮岩由莉那 組 (北海道DSC)
- 第4位 千葉 佑輔・小寺 初幸 組 (北海道大学舞蹈研究部)
- 第5位 斉藤 崇幸・玉井絵里子 組 (札幌圏)
- 第6位 伊藤 傑・清水 仁生 組 (北海道DSC)

準優勝



優勝



JDSF B級戦 スタンダード



優勝 斉藤 崇幸・玉井 絵里子 組 (札幌圏)



JDSF B級戦 ラテン



優勝 多田 浩二・多田 華 組 (北海道DSC)



JDSF D級戦 スタンダード



優勝 菊地 賢・菊地 陽子 組 (北海道DSC)

JDSF D級戦 ラテン



優勝 小原 運史・小原 菜々華 組 (北海道DSC)

JDSF C級戦 ラテン



JDSF C級戦 スタンダード



優勝 押切 雅易弥・押切 萌琉 組 (北海道DSC) (同St優勝)



JDSF ノービス戦 スタンダード

優勝 内藤雄介・秋松ひとみ 組 (北海道DSC)



シニアIラテン戦に浅田舞さんが 蛭川博信さんと出場し 決勝6位に入賞

決勝に残ることができてホントに良かった。
楽しかったです！ 次のコンペはまだ決まっ
ていませんが、次の大会も頑張りますよ!!



浅田舞さんは、フィギュアスケート世界選手権3回優勝・オリンピック銀メダリスト浅田真央選手のお姉さんで、同じフィギュアスケート選手としてジュニア時代から活躍、ISU(国際スケート連盟)グランプリシリーズなど数々の国際大会でも活躍され、近年はモデル、タレントとしてマスコミでも大活躍です。

蛭川博信さんは進藤学の芸名でテレビや舞台で活躍中、アルゼンチンタンゴの経験も豊富。カップルとして今年3月のJDSF京都市大会に初出場、ラテンB級に出場し優勝を飾っています。5月の大阪グランプリのシニアI戦ではワンチェック差で決勝入りを逃し第7位でした。

この日は札幌のみならず東京からのスタッフも加わり総勢15名のTBSテレビクルーが会場を駆け巡りました。

TBSテレビ制作局「中居正広の金曜日のスマイルたちへ」の担当黒川展寛ディレクターは、「キンタロー。さんの引退、そしてロペス・村主章枝組は7月9日でラストダンスがオンエアとなりましたが、浅田舞さんが新しいカップルを結成し3月に初出場、大阪グランプリや今日の北海道グランプリなどにも出場しているの、今後もこのダンス関連の特番を継続することが可能になり、正直ホッとしています。オンエアを楽しみにしてください!!」と話されていました。



左から金子北海道ブロック委員長、蛭川博信・浅田舞組、神宮広報部相談役、高橋北海道DS連盟会長



つなげています スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、
日本のスポーツを育てるために
使われています。

スポーツくじ **LOCO** **BIG**

www.toto-dream.com www.toto-growing.com ©19歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。払戻金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

ダンス・ダンス・ダンス 第101号(Autumn)

令和3年11月発行

- 発行人／山田 淳(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
- 編集人／神宮周二(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
- 編集長／佐藤肇之(公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所／公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-2 東屋ビル7階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857
http://www.jdsf.or.jp

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。